大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1㎡あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点			放射能濃度(mBq/m)			
炽د地点			7/22~7/29	7/29~8/5	8/5~8/12	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	0.013	不検出	
		セシウム137	0.097	0.19	0.22	
	金房小学校(飯崎)	セシウム134	不検出	不検出	不検出	
		セシウム137	0.039	0.079	0.11	
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出	
		セシウム137	0.024	0.031	0.033	
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	0.018	不検出	
		セシウム137	0.20	0.33	0.25	
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出	
		セシウム137	0.020	0.051	0.062	
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出	不検出	
		セシウム137	不検出	0.034	0.078	
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出	
		セシウム137	0.017	0.050	0.071	
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出	
		セシウム137	0.050	0.098	0.086	

測定地点			放射能濃度(mBq/m³)			
	例足地点		7/22~7/29	7/29~8/5	8/5~8/12	
	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出	
鹿島		セシウム137	不検出	0.028	0.047	
区	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出	不検出	
		セシウム137	不検出	0.021	0.022	

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/mの範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

I●渡邉正己京都大学名誉教授

(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

市内の大気浮遊じん中のセシウム137濃度は、平均0.05mBq/m3と自然放射能レベルの極めて低い濃度であり、健康影響について心配はいりません。それにしても、コロナ禍の不安な毎日が続いています。私は、大学に務めて40数年間、経済的価値感に基づいた都会で衣食住に不便のない生活を送りました。しかし、「この生活が本当にひとを豊かにするのか?」と疑問を持ち、15年ほど前に狂牛病などの食の安全が脅かされる出来事が続いた際、「衣・食・住」の「食」を自給自足にしたいと高野山麓・紀の川に移住しました。果樹園と畑に囲まれ、夜は漆黒の闇に包まれ、便利ではないですが、きれいな空気と美味しい食べ物に感謝する毎日です。日本人は大震災やコロナ禍を経験して今一度、便利なだけではなく如何に生きるかを深く考える時ではないかと思います。